

## 平成20年度 抛出委託単価について

### 抛出委託単価算定の考え方

平成20年度の特定事業者の「抛出委託単価」は「平成20年度分として見込まれる再商品化合理化抛出金」(下表の抛出金見込額A)を「平成20年度分として見込まれる特定事業者からの再商品化委託申込の総量」(下表のH20申込量B)で除して算出している。

### 抛出委託単価の計算式

$$\text{抛出委託単価} = \frac{(\text{想定額 } X - \text{現に要した費用の見込額 } Y) \times 1/2}{\text{平成20年度分として見込まれる特定事業者からの再商品化委託申込の総量}} \times 1.05$$

(消費税相当分)

#### <平成20年度抛出委託単価の算出根拠>

単位/量 = トン、金額 = 円

	想定量	想定単価 (円/トン)	想定額(X) ×	現に要した費用 の見込額(Y)	X - Y	(X - Y) ÷ 2 = (A) (抛出金見込額)	H20申込量 (B)	抛出委託単価 A ÷ B (円/トン)
ガラスびん								
無色	101,277.170	2,921	295,830,613	337,456,512	-41,625,899	0	153,800	0
茶色	97,186.000	3,649	354,631,714	395,015,166	-40,383,452	0	112,300	0
その他	106,671.100	5,184	552,982,982	611,616,185	-58,633,203	0	108,400	0
PETボトル	157,993.352	4,739	748,730,495	75,000,000	673,730,495	336,865,247	281,800	1,300
紙	26,859.476	4,642	124,681,687	11,600,000	113,081,687	56,540,843	31,700	1,900
プラスチック	下記参照		53,324,933,384	36,235,038,000	17,089,895,384	8,544,948,000	849,200	10,600

プラスチックについては、想定量から抛出金見込額までの数字は手法ごとに計算しています。内訳は以下のとおりです。なお上記プラスチックの数字はこれらを合算したものです。

トレイ	976.595	43,075	42,066,829	23,997,000	18,069,829	9,034,914	-	-
材料リサイクル	384,107.760	94,658	36,358,872,346	24,467,507,000	11,891,365,346	5,945,682,673	-	-
油化	5,000.000	84,904	424,520,000	403,810,000	20,710,000	10,355,000	-	-
高炉還元剤化	24,264.480	68,089	1,652,144,178	974,731,000	677,413,178	338,706,589	-	-
コークス炉化学原料化	168,552.160	62,499	10,534,341,447	7,157,383,000	3,376,958,447	1,688,479,223	-	-
合成ガス化	65,523.040	65,824	4,312,988,584	3,207,610,000	1,105,378,584	552,689,292	-	-

注1) 想定単価、想定額、現に要した費用の見込額、抛出金見込額は消費税抜きの数字です。

注2) ガラスびんのように、「X - Y」が0(ゼロ)以下の場合、抛出金は生じませんので、抛出委託単価は0(ゼロ)となります。

注3) 各数字は端数調整していますので、必ずしも計算結果と等しくありません。

注4) 平成20年度分として見込まれる特定事業者からの再商品化委託申込の総量は平成20年8月末時点の数字です。